

A ほどけた結び目

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問

会話と行動を根拠に心情の変化を読む

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 日曜日の河原で、悠斗はたこの糸をほどいていた。妹の花が「持とうか」と手を伸ばす。悠斗は糸巻きを胸に寄せた。去年は花に貸したとたん、たこが木に引っかかった。今日はやっと風が出たのだ。
- ② 「見てて。今度は高く上がるから」悠斗は走った。たこは一度青空を向き、くると裏返った。地面に落ちたたこの端に、小さな裂け目ができていた。花の足音が近づいたが、悠斗は振り向かなかった。
- ③ 花はしゃがみ、ポケットから紙の包みと小さなテープを出した。家で作った折り紙の人形を、祖母に見せるために持ってきたのだった。花は人形の台にしていた厚紙を外した。「ここに当てれば、どうかな」
- ④ 悠斗は「自分で直すよ」と言いかけた。けれど、花が厚紙の角を指で丸く折るのを見て、口を閉じた。家で自分がたこの紙を破らないようにしていたのと、同じ手つきだった。二人で裂け目をふさぐと、花の人形は草の上に座ることになった。
- ⑤ 「そっち、持ってくれる」悠斗が言うと、花はたこを頭の上に掲げた。「三つ数えたらね」声を合わせて手を離す。たこは今度も揺れたが、少しずつ糸を引く力が強くなった。
- ⑥ 悠斗は糸巻きを花のほうへ差し出した。花の手の上に自分の手を重ねると、細い糸の震えが二人の指に伝わった。足元では、台をなくした紙の人形が、草にもたれて空を見ていた。

問1 ①段落で悠斗が糸巻きを胸に寄せた理由として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 花にたこの上げ方を教えるため、まず手本を見せようと思ったから。
イ 去年のことを思い出し、花に任せず自分でたこを上げたかったから。
ウ 風がまだ吹いていなかったため、花に待ってもらおうと思ったから。
エ 花が持っていた人形に糸が絡まないよう、片付けようと思ったから。

A ほどけた結び目

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落の「振り向かなかった」という行動から読み取れる悠斗の様子として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 花が近づいてきたことに、まだ気付いていない。

イ花がたこを壊したと思い、謝るのを待っている。

ウ 自信を見せた直後に失敗し、花と顔を合わせにくい。

エ花に修理を任せることを決め、上がるのを待っている。

問3 ④段落の「同じ手つき」とは、どのような手つきですか。二十字以上三十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問4 ①段落と⑤段落を比べると、悠斗の花への接し方はどう変わりましたか。最も適切なものを一つ選びなさい。

ア花を遠ざけていたが、自分から協力を求めるようになった。

イ花を頼っていたが、一人ですべてしようとするようになった。

ウ花に教えていたが、たこの上げ方を一から教わるようになった。

エ花と競っていたが、たこを上げることに関心がなくなった。

問5 花が自分の大切な物の一部をたこの修理に使ったことが分かる一文を、③段落から抜き出してください。(18字)

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

A ほどけた結び目

基礎～標準 1 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑥段落の「細い糸の震えが二人の指に伝わった」という表現の効果として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 糸が切れそうになり、二人が不安を感じている様子を示す。

イ花の持ち方が上手で、悠斗が悔しがっている様子を示す。

ウ 花が一人でたこを上げ、悠斗が見守る様子を示す。

エ 二人が同じ感触を味わい、一緒にたこを上げている様子を示す。

問7 悠斗が④段落で「自分で直すよ」と言いかけて口を閉じたのはなぜですか。花の行動に触れ、三十字以上五十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 悠斗の花への見方は、初めと終わりでどう変わりましたか。変わるきっかけも含め、四十五字以上六十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

B 幕の向こう

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問

情景描写と細かな動作の効果を読む

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 舞台の袖は、思っていたより暗かった。里奈は幕の綱を握り直した。文化祭の劇で希望した主役は、紗季に決まった。「幕も大事な役だよ」と先生に言われたとき、里奈は笑ってうなずいた。家ではせりふの書かれた紙を、引き出しのいちばん下へ押し込んだ。
- ② 最後の練習で、里奈は合図より早く幕を下ろした。舞台から「まだ」と声が飛んだ。里奈には、合図の手が上がったように見えたのだ。見に来ていた一年生たちの笑い声が、暗い袖まで届いた。
- ③ 練習のあと、紗季が綱の横に立った。「ここからだ、私の手、見えにくいね」里奈は返事をせず、綱のほつれをつまんだ。責める言葉を待っていたのに、紗季は舞台に戻り、合図を出す位置を半歩ずらした。「これなら？」
- ④ 翌日の本番。里奈は紗季の手だけでなく、声の終わりを聞いていた。最後のせりふのあと、紗季が客席を見つめる。いつもより長い間だった。里奈は綱にかけた指を動かさなかった。やがて紗季の肩が静かに下がり、手が上がった。
- ⑤ 幕が下りきる少し前、拍手が始まった。布の向こうで、紗季が小さく息を吐いた。里奈も同じように息を吐き、自分も息を詰めていたことに気付いた。
- ⑥ 片付けが終わると、紗季がみんなの台本を集めていた。「これも、お願い」里奈は自分の台本を差し出した。最後のページには、せりふではない場所に、鉛筆で大きな丸が付いていた。丸の横には、「ここで待つ」と書いてあった。

問1 ①段落の里奈の様子として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 人前では納得したように振る舞ったが、主役になれず落胆していた。
- イ 人前では不満を隠さなかったが、家では新しい役を楽しみにしていた。
- ウ 先生の言葉を疑ったが、帰宅するまでに主役への希望を忘れていた。
- エ 主役になれたことを喜んだが、せりふの多さを心配していた。

読み取りメモ 気になる言葉と、そこから分かること

B 幕の向こう

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題4ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落について、本文に書かれていることを一つ選びなさい。

ア 紗季は決められた時刻より早く合図を出した。

イ一年生は里奈を困らせるために笑った。

ウリ奈は劇を早く終わらせようとして幕を下ろした。

エ里奈は合図が出たと思い、実際の合図より早く幕を下ろした。

問3 ③段落で紗季が合図を出す位置を変えたのは、どのような問題に気付いたからですか。二十五字以上四十字以内に説明しなさい。

[illegible]

問4 ③段落で里奈が「綱のほつれをつまんだ」ことは、前後の文と合わせるとどのように読みますか。一つ選びなさい。

ア ほつれの修理だけに集中し、紗季の声に気付かなかった。

イ紗季に責められると思い、緊張して返事ができずにいた。

ウ 自分の仕事が終わったので、紗季が帰るのを待っていた。

エ 紗季の提案が気に入らず、断る方法を探していた。

問5 ④段落の「いつもより長い間だった」に続けて、里奈が指を動かさなかったことを書く効果として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 本番の進行が止まり、里奈が次の手順を忘れたことを示す。

イ 紗季がせりふを忘れたと、里奈が決めつけていることを示す。

ウ 紗季の演技の終わりを確かめながら、里奈が待つ緊張を伝える。

エ 予定の時刻に幕を下ろそうと、里奈が時計を見ていることを示す。

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

B 幕の向こう

基礎～標準 2 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題4ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑤段落で二人が続けて息を吐く描写から伝わることを、三十字以上五十字以内に説明しなさい。

問7 ⑥段落の台本の丸と書き込みは、里奈の役への向き合い方をどう表していますか。三十字以上五十字以内で説明しなさい。

問8 紗季の働きかけをきっかけに、里奈はどのように劇に関わるようになりましたか。①段落の様子と比べ、四十五字以上六十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

C 坂の途中

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問

語り手の見方と描写の変化を結び付ける

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 健太が引っ越す前の日、僕は駅へ下る坂を歩いた。明日からは一人で通る坂だ。そう思うと、いつもの道が妙に長かった。健太は何度も立ち止まり、小さな手帳に何か描いていた。僕が話しかけても、「うん」としか言わなかった。
- ② 「そんなに珍しい物、ある？」僕は少し先から聞いた。「毎日通ってたのに」健太は手帳から顔を上げず、「毎日通ってたから」と答えた。僕は空き缶を靴先でよけて、また歩きだした。
- ③ 坂の途中の曲がり角で、健太がしゃがみ込んだ。僕も戻って、肩越しに手帳をのぞいた。そこには、電柱と、欠けた石段と、低い屋根が描かれていた。どれも、わざわざ描くほどの物には見えなかった。
- ④ 「こっちから見て」言われてしゃがむと、屋根の間に海が現れた。手帳の小さな白い部分と重なる。「ここ、冬は夕日が入るんだ」健太は薄く引いた線を消し、屋根の端を描き直した。僕は、その白い部分が夕日に染まるところを初めて想像した。
- ⑤ 「向こうに行ったら、見られないもんな」僕が言うと、健太の鉛筆が止まった。「うん」今度の返事のあとには、少し長い沈黙が残った。僕は立ち上がり、健太がまた描き始めるのを待った。
- ⑥ 駅の時計が見えたとき、健太は手帳を閉じた。僕は曲がり角を振り返った。坂が短くなったわけではない。それでも帰りは、あの石段の前で少し止まろうと思った。冬の夕日を撮って送るなら、どの位置がよいだろう。

問1 この文章の語り方として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 健太が自分の行動と、「僕」の心の中を直接語っている。
- イ 物語の外にいる語り手が、二人の心の中を同じ詳しさを語っている。
- ウ 「僕」が見聞きしたことと、自分の考えや気持ちを語っている。
- エ 二人が交互に語り手になり、互いの気持ちを説明している。

C 坂の途中

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題7ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ①段落で「いつもの道が妙に長かった」のはなぜですか。二十五字以上四十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問3 ②段落で健太が「毎日通ってたから」と言った理由として、最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 見慣れた道なので、何も見ないでも正確に描けると考えたから。

イ 親しんだ道を離れる前に、見慣れた景色を残しておきたかったから。

ウ 毎日歩いた道に飽き、新しい道を探すための地図が必要だったから。

工 珍しい物を見つけたので、「僕」に早く見せたいと考えたから。

問4 ④段落で「僕」がしゃがんで景色を見ることは、文章の展開にどんな役割を果たしていますか。一つ選びなさい。

ア 健太が見ている景色を共有し、その行動の意味を考え直すきっかけになる。

イ 健太の絵の間違ひを見つけ、二人の考えの食い違ひをはっきりさせる。

ウ 駅までの近道を見つけ、二人が別れる時刻を早めるきっかけになる。

エ 遠くの海に話題を移し、引っ越しへの関心が薄れたことを示す。

問5 ①段落と⑤段落の健太の「うん」は、「僕」にとってどう違って受け取られていますか。四十文字以上六十文字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

C 坂の途中

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題7ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 健太の気持ちについて、本文からの読み取りとして最も適切なものを一つ選びなさい。

ア 毎日通った道なので、景色をよく見なくても記憶だけで描けるという自信を持っている。
イ 引越先前の景色を思い浮かべ、新しい町への期待から「うん」のあと黙り込んでいる。
ウ 屋根を描き直すのは、「僕」に絵の間違いを指摘されて、画力への自信をなくしたためだ。
エ 身近な景色への思い入れは行動から伝わるが、沈黙の中の細かな気持ちまでは語られない。

問7 ⑥段落で「僕」が夕日の写真を送ろうと考えることは、健太への関わり方のどのような変化を示しますか。三十五字以上五十五字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 初めと終わりの坂の描写を比べ、「僕」にとってこの道がどのようなものになったかを、きっかけとともに五十字以上七十字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

D 折り返し

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点

心情変化・情景・会話・表現効果をまとめて確かめる

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① バトンは、拓海の指先をかすめて土の上に落ちた。放課後のリレー練習で、二度目の失敗だった。「もう少し早く渡してよ」拓海は拾ったバトンを直樹に差し出した。直樹は何か言いかけ、口を閉じた。校舎の影が二人の足元まで伸びていた。
- ② 拓海はスタートの目印を指した。「そこを通ったら、走りだしてるんだよ」白線の脇には、拓海が石で引いた短い線があった。直樹はその線を見つめ、それから助走の位置へ戻っていった。
- ③ 水を飲みに来た先輩が、拓海の足元で止まった。「それ、昨日の線じゃない？ 今日では二歩先にしたよね」拓海は目を落とした。少し先の、土の色が薄い場所に、もう一本の線がかすかに残っていた。
- ④ 向こうで直樹が靴ひもを結び直していた。拓海はバトンを両手で回した。呼ぼうとすると、さっきの自分の声が耳に戻った。先輩は何も言わず、水筒を持って校舎へ歩いていった。
- ⑤ 「直樹、待って」拓海は二本の線の間に入った。「僕、古いほうを見てた」直樹が顔を上げた。「さっき、言い方も……ごめん」直樹はすぐには答えず、近づいて、古い線を靴の底で消した。「じゃあ、新しいほう、もっと濃くしよう」
- ⑥ 二人は新しい目印を引き直した。次の一本でも、受け渡しは少し詰まった。それでも今度は、二人とも同じ線のところへ戻った。「あと半歩、こっちかな」拓海が尋ねると、直樹は隣にしゃがんだ。校庭には、まだ走れるだけの明るさが残っていた。

問1〔10点〕 バトンの受け渡しがうまくいかなかった原因に関係する、本文の事実を一つ選きなさい。

- ア 直樹は、その日決めた助走の位置を忘れていた。
イ 拓海は、走りだす目印として古い線を見ていた。
ウ 先輩は、二人に違う位置の目印を教えていた。
エ 二人は、暗くてどちらの線も見えなくなっていた。

D 折り返し

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2〔10点〕 ④段落の「さっきの自分の声が耳に戻った」とは、どういうことですか。一つ選びなさい。

- ア 直樹の声を、自分の声だと聞き間違えた。 イ 校舎に反響した声が、遅れて聞こえてきた。
ウ 先輩が、拓海の言ったことを繰り返した。 エ 直樹を責めた自分の言葉を思い出した。

問3〔10点〕 ④段落の拓海の様子として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 自分の誤りに気付き、責めた相手に声をかけるのをためらっている。
イ 先輩の説明に納得できず、直樹の誤りを確かめようとしている。
ウ 直樹が謝ってくると考え、気持ちを落ち着かせて待っている。
エ 練習が終わると思い、使ったバトンを片付けようとしている。

問4〔10点〕 ⑤段落の直樹の行動や言葉から読み取れることを一つ選びなさい。

- ア 謝罪には答えず、今後は一人で練習しようとしている。
イ 原因は分かったので、その日の練習を終えようとしている。
ウ すぐには返事をしないが、二人で受け渡しを直そうとしている。
エ 拓海の誤りを残しておくため、古い線を保存しようとしている。

問5〔10点〕 拓海が、目印の間違いだけでなく直樹への接し方も反省したことを示す会話を、⑤段落からかぎカッコを付けずに抜き出しなさい。（13字）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

13

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。

D 折り返し

定期テスト対策 | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6〔15点〕 ①段落の影の描写と⑥段落の明るさの描写は、それぞれ場面にどのような印象を加えていますか。四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7〔15点〕⑥段落で、受け渡しが完全には成功しないまま物語が終わることには、どのような効果がありますか。四十字以上六十字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8〔20点〕 拓海の直樹に対する態度は、何をきっかけにどう変わりましたか。初めと終わりを比べ、五十字以上七十字以内で説明しなさい。

[illegible]

見直しメモ 迷った問いの根拠を、段落番号とともに書こう。